



## 1年間 お世話になりました…3つの約束のふり返り

今年度の4月の始業式の日、私と子どもたちで3つの約束をしました。保護者の皆様にも様々な機会を捉えてお話ししているので、御存じかと思いますが、それは、

- 1 あいさつ
- 2 返事
- 3 大きな歌声

です。平成25年度を終了するに当たり、この3つの約束について振り返ります。

☆☆☆☆☆☆

### 1 「あいさつ」について

子どもたちの態度や意識の中で一番変化があったのが、「あいさつ」でした。学校だより「みどりっ子」で何度も記事にしたように、子どもたちのあいさつに対する意識は確実に変わりました。そのことは、学校教育に関するアンケートにも具体的データとして表れました。

そして、卒業式の日、私宛に一通の手紙が届きました。その手紙の内容は、今年度の子どもたちの「あいさつ」の姿を総括してくださるような内容でした。御本人の承諾のもと、差出人が特定できないように本文を少し変更して紹介します。

孫が大変お世話になっております。

私は、孫が入学してから今まで、毎日、自宅から県道まで、自身の健康のための犬の散歩と児童の登校班の安全見守りを兼ねて、毎日一緒に歩いています。

私ที่บ้านに戻る時に、いつも、すばらしい立派な児童に出会います。その児童は、小学校1年生で、大きな声で明るく、元気よく「おはようございます。」とあいさつをしてくれます。私は、今までこのような児童に出会ったことはありません。ご家族の教育、学校の教育がよいのだと思います。

そこで、校長先生にお願いがあります。校長先生から直接、その児童を褒めていただけますよう、よろしく願い申し上げます。

子どもたちのあいさつが、学校内だけでなく地域にも広がりつつあること、そして、そのことを手紙で知らせてくださった方の行為（好意）を大変嬉しく思いました。

手紙に登場する元気なあいさつをする1年生とは

1年2組の Y. N さんです。Nさん、あなたの元気なあいさつの声が、地域の方を感激させました。

七海さんのような子が本校にいることを、私はとても誇らしく思います。



【 Y. N さん】

### 2 「返事」について

3つの約束の中で、一番課題として残るのが「返事」ではないでしょうか。

何かを指導・指示されたときに「はい」と気持ちのよい返事のできる子が増えました。しかし、あいさつと比べると、「はい」とか「すみません」とか「わかりました」という返事のできる子は、まだまだ多くはないというのが、正直なところです。中には、指導されると無言でその場を立ち去る子も、まだ見られます。

### 3 「大きな歌声」について

今年度の入学式の日には、来賓の皆様から「歌声がすばらしい」という言葉をいただいたことは、「みどりっ子」でも紹介しました。先日の卒業式後にも、来賓の皆様からお褒めの言葉をいただきました。

「歌声がきれいに響いていて、すばらしいですね。」「気持ちのよい歌声が響く学校は、それだけで落ち着いている感じを受けます。」

本校教育活動へのお褒めの言葉として、私は大変嬉しく受け止めました。

☆☆☆☆☆☆

今年度1年間、いろいろな方々から本校の教育について御意見等をいただきました。その多くが肯定的なものでした。皆様からの御意見を拝見する度に、「大室小学校の教育は正常に行われている。」ということ強く感じました。

これも、日々子どもたちに本気で関わる本校職員の頑張りはもちろんのこと、地域や保護者の皆様のお陰と感謝申し上げます。私は常々、「学校、地域、保護者の三者が連携し、同じ方向性の本子どもたちの指導に当たることが大切である」ということを言い、三者の協力・連携についてお願いしてきました。子どもたちの望ましい変化は、まさに三者の連携の賜だと思っています。この1年間、大室小学校を支えてくださった皆様に感謝します。

ありがとうございました。